

牧草のムギダニ防除殺虫剤（スミチオン乳剤）

牧草のムギダニに対してはこれまで使用可能な薬剤がなかったが、今回新たに殺虫剤が登録され、防除効果も確認された。



写真1 ムギダニにより被害を受けた草地

変色した部分が被害を受けた箇所。

ムギダニの活動は、5度～8度で活発なり、夏は休眠している。そのため、春、秋に被害が集中するが、特に、春の被害が甚だしく、その後の収量にも影響する。



写真2 ムギダニ

牧草についたムギダニ。成虫でも1mm程度の大きさ。牧草に付いて葉汁を吸い、牧草を枯らす。

表1 ムギダニに対する防除効果(頭/m²)

	4月21日	4月27日
薬剤防除区	100	1,333
無処理区	1,255	4,033
薬剤散布日	4月16日	

スミチオン乳剤1000倍液の10a当たり1000ℓの散布で効果が認められる。

ムギダニの防除は、4月上旬～5月、10月、ムギダニ発生時に行う。また、ムギダニの活動が活発な、曇天の日や夕方に散布する。